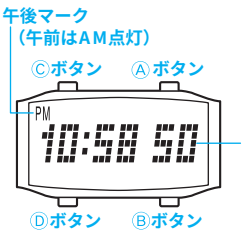
操作のしくみと表示の見方

Ⓑボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。

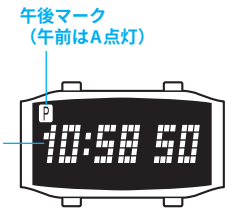
※表示は機種により異なる場合があります。
※本書の表示例は、モジュール２０４１を使用しています。（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）

時刻モード

●モジュール２０４１



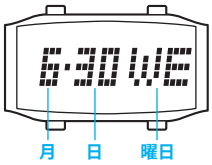
●モジュール２０４２



※Ⓑボタンを押してメモモードから戻ると、時刻モードで表示している時刻の都市コードを一瞬表示します。

★カレンダー切替

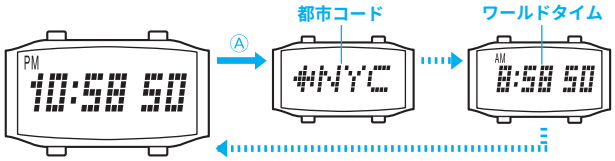
Ⓓボタンを押すと、カレンダーを約１秒間表示します。



（曜日の見方）
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

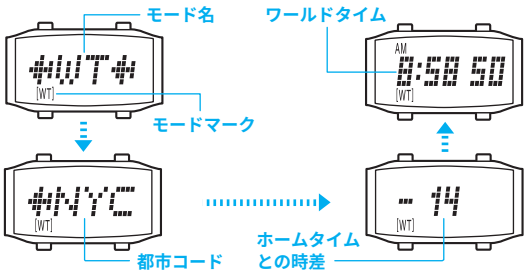
★ワールドタイム一時表示

Ⓐボタンを押すと、ワールドタイムモードで選ばれている都市の時刻を約２秒間表示します。



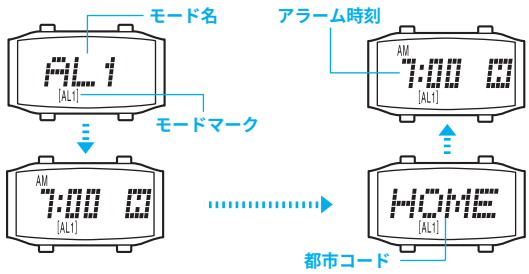
Ⓑ

ワールドタイムモード



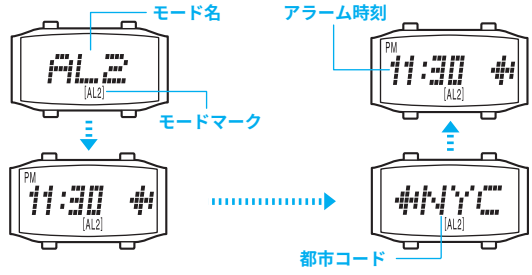
Ⓑ

アラーム１モード



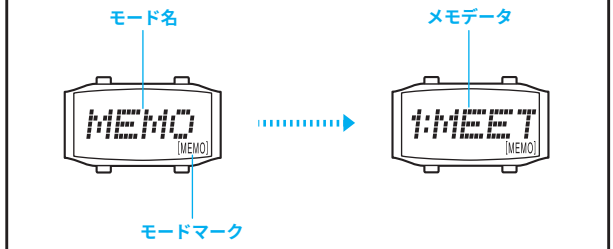
Ⓑ

アラーム２モード



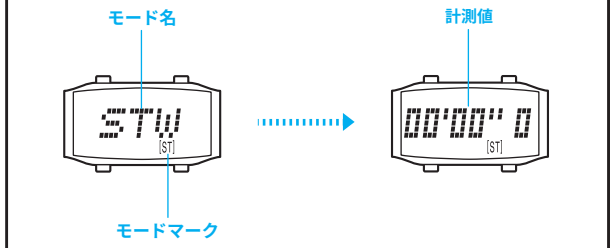
Ⓑ

メモモード



Ⓑ

ストップウオッチモード



Ⓑ

※各モードで何らかのボタン操作（ライト点灯は除く）を行なったあとにⒷボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

ワールドタイムの使い方　Ⓑボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界27タイムゾーン（40都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができる機能です。
ワールドタイムに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

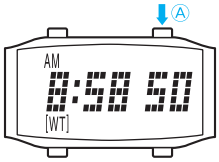
※時刻モードでホームタイムおよび都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓐボタンを押します

➡各都市の時刻が表示されます。
※押し続けると早送りします。



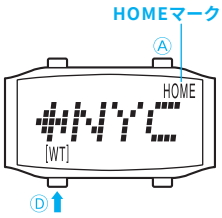
■ホームタイムとローカルタイムの入れ替え

ホームタイムと任意のローカルタイムを簡単に入れ替えることができます。
旅行先で一時的に表示を替えて時刻、日付・曜日を見るとき便利です。

1 ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを押して、入れ替えたい都市を選びます。

2 **Ⓓボタンを約1秒間押し続けます**

➡操作確認音が鳴り、“HOME”マークが点灯します。表示している都市の時刻がホームタイムになります。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

● DSTの自動切り替え

本機では、夏時間法を採用する都市については、下記の条件にしたがい自動的にDSTのON／OFFを切り替えます。
※DST ONのときは“DST”マークが点灯します。

コード	サマータイム開始	サマータイム終了
LON	3月　最終日曜日　AM1：00	10月　最終日曜日　AM2：00
PAR, MIL, ROM, BER	3月　最終日曜日　AM2：00	10月　最終日曜日　AM3：00
IST	3月　最終日曜日　AM3：00	10月　最終日曜日　AM4：00
MOW	3月　最終日曜日　AM4：00	10月　最終日曜日　AM5：00
ADL, SYD	10月　最終日曜日　AM2：00	3月　最終日曜日　AM2：00
WLG	10月　第1週日曜日　AM2：00	3月　第3週日曜日　AM2：00
ANC, LAX, SFO, YVR, DEN, CHI, MEX, NYC, MIA	4月　第1週日曜日　AM2：00	10月　最終日曜日　AM2：00
RIO	10月　第1週日曜日　AM2：00	2月11日以降の第1日曜日　AM2：00

※例　LON＝サマータイムの開始　AM12：59 ➡ AM2：00
　　サマータイムの終了　AM 1：59 ➡ AM1：00
※上記の都市（タイムゾーン）をホームタイムに設定している場合、DSTの自動切り替えタイミングの±1時間の間は時刻修正を行なわないでください。
※上記の都市と同じタイムゾーンに属する都市でも、同期間でサマータイムを導入しているとは限りませんのでご注意ください。

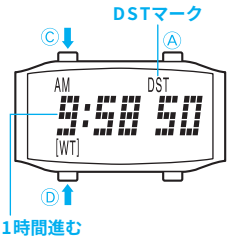
● DSTの手動切り替え

各都市ごとにDSTのON／OFFを設定することができます。

1 ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを押して、設定したい都市を選びます。

2 **Ⓒボタンと Ⓓボタンを同時に押します**

➡“DST”マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※“DST”マークが点灯しているときに、Ⓒ・Ⓓボタンを同時に押すと通常の時刻に戻ります。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	国名	コード	時差	都市名	国名
GMT	±0	<グリニッジ標準時>		SIN	＋8	シンガポール	シンガポール
				TYO	＋9	東京	日本
LON	±0	ロンドン	イギリス	SEL	＋9	ソウル	大韓民国
PAR	＋1	パリ	フランス	ADL	＋9.5	アデレード	オーストラリア
MIL	＋1	ミラノ	イタリア	SYD	＋10	シドニー	オーストラリア
ROM	＋1	ローマ	イタリア	GUM	＋10	グアム	グアム島（米領）
BER	＋1	ベルリン	ドイツ	NOU	＋11	ヌーメア	ニューカレドニア（仏領）
IST	＋2	イスタンブール	トルコ	WLG	＋12	ウェリントン	ニュージーランド
JRS	＋2	エルサレム	イスラエル	PPG	－11	パゴパゴ	アメリカ領サモア
CAI	＋2	カイロ	エジプト	HNL	－10	ホノルル	アメリカ合衆国
MOW	＋3	モスクワ	ロシア連邦	ANC	－9	アンカレジ	アメリカ合衆国
JED	＋3	ジッダ	サウジアラビア	LAX	－8	ロサンゼルス	アメリカ合衆国
THR	＋3.5	テヘラン	イラン	SFO	－8	サンフランシスコ	アメリカ合衆国
DXB	＋4	ドバイ	アラブ首長国連邦	YVR	－8	バンクーバー	カナダ
KBL	＋4.5	カブール	アフガニスタン	DEN	－7	デンバー	アメリカ合衆国
KHI	＋5	カラチ	パキスタン	CHI	－6	シカゴ	アメリカ合衆国
DEL	＋5.5	デリー	インド	MEX	－6	メキシコシティ	メキシコ
DAC	＋6	ダッカ	バングラデシュ	NYC	－5	ニューヨーク	アメリカ合衆国
RGN	＋6.5	ヤンゴン	ミャンマー	MIA	－5	マイアミ	アメリカ合衆国
BKK	＋7	バンコク	タイ	CCS	－4	カラカス	ベネズエラ
HKG	＋8	ホンコン（香港）	中華人民共和国	RIO	－3	リオデジャネイロ	ブラジル

※この表は1998年6月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。
※時差・サマータイム期間は各国の都合等により一部が変更となることがあります。

アラームの使い方　Ⓑボタンを押して、アラームモードにします。

2本のアラーム(アラーム1モード、アラーム2モード)があり、セットした時刻になると20秒間電子音が鳴ります。
なお、アラームは選んだ都市の時刻に合わせて鳴ります。

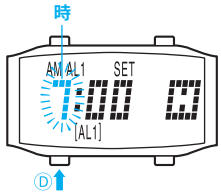
※電子音はアラーム1とアラーム2で異なります。
※ボタン操作はアラーム1モードとアラーム2モードで同様となります。

■アラーム時刻のセット

1 アラーム1またはアラーム2モードのとき、

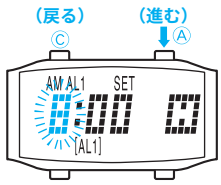
Ⓓボタンを約1秒間押し続けます

➡アラーム時刻の「時」が点滅します。
※このとき、アラームが自動的にONになります。



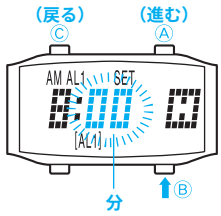
2 **ⒶまたはⒸボタンを押します**

➡Ⓐボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓒボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓐ・Ⓒボタンとも、押し続けると早送りします。
※「時」のセットのとき午前(AM／A)と午後(PM／P)、または24時間制にご注意ください。なお、ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。



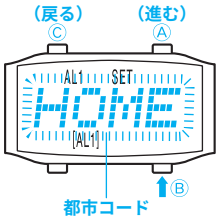
3 **Ⓑボタンを押します**

➡アラーム時刻の「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒶまたはⒸボタンを押して数字を選びます。



4 **Ⓑボタンを押します**

➡「都市コード」が点滅します。



5 **都市を選ぶ**

ⒶまたはⒸボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓒボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓐ・Ⓒボタンとも、押し続けると早送りします。

★ホームタイムに合わせて鳴らしたいときは…
“HOME”を表示させます。
(設定されているホームタイム都市の時刻に合わせて鳴ります)

★ワールドタイムに合わせて鳴らしたいときは…
鳴らしたい都市の都市コードを表示させます。

6 **セットが終わりましたら、Ⓓボタンを押します**

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

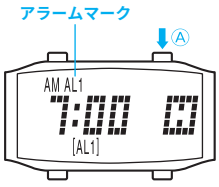
■アラームのON／OFF設定

アラーム1またはアラーム2モードのとき、

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとにアラームマークが点灯／消灯を繰り返します。

※アラーム1モードのときは“**AL1**”マークが、アラーム2モードのときは“**AL2**”マークが点灯します。
※マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。



※アラーム1モードのとき

■モニターアラーム

アラーム1またはアラーム2モードのとき、Ⓐボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方　Ⓑボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

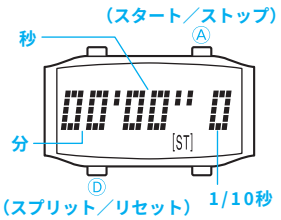
ストップウオッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

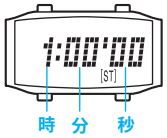
ストップウオッチモードのとき、

Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

★計測中にⒹボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。(SPL点灯)
★計測終了後Ⓓボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。



●通常計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓓ リセット

<積算計測>
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート → Ⓓ スプリット計測 → Ⓓ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓓ リセット
(スプリットタイム表示)

●1・2着同時計測

Ⓐ スタート → Ⓓ 1着ゴール → Ⓐ 2着ゴール → Ⓓ 2着タイム表示 → Ⓓ リセット
(1着タイム表示)

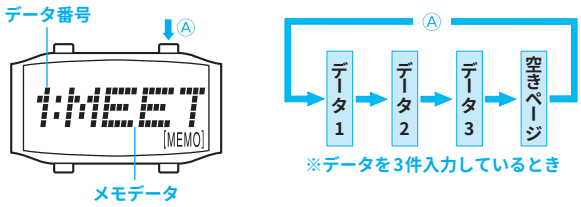
メモモードの使い方　Ⓓボタンを押して、メモモードにします。

メモモードでは1件につき32文字のデータを最大15件まで記憶できます。
メモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■メモデータを探す

メモモードのとき、**Ⓐボタンを押します**

➡Ⓐボタンを押すごとに、データが順番に表示されます。
※押し続けると早送りします。

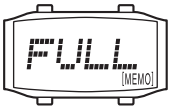


※データ入力をしたページと空きページを表示します。なお、データが1件も入力されていないときは、空きページのみ表示します。
※メモデータを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。

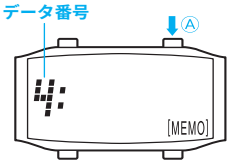
■メモデータを入力する

1 メモモードのときⒶボタンを押して、空きページを表示させます。

データがすでに15件記憶されているときは、“FULL”と表示されますので、不要なデータを消してください。



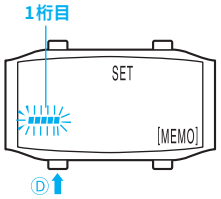
＜FULL表示＞



＜空きページ表示＞

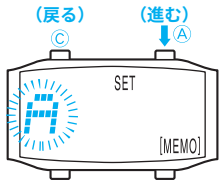
2 **Ⓓボタンを約1秒間押し続けます**

➡メモデータの1桁目が点滅します。



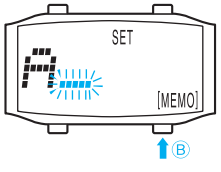
3 **ⒶまたはⒸボタンを押します**

➡Ⓐボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓒボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓐ・Ⓒボタンとも押し続けると早送りします。



4 **Ⓑボタンを押します**

➡点滅箇所が右に移動します。
※Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所がメモデータ1桁目～32桁目と移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓑボタンでセットしたい箇所を選びます。



3 ～ 4 の操作を繰り返して、メモデータを入力します。

※メモデータは最大32文字まで入力できます。なお、メモデータの最後にはエンドマーク（⊣）がつきます。
※入力できる文字は（スペース）、A～Z、0～9、.、ー、@です。

5 **セットが終わりましたら、Ⓓボタンを押します**

➡点滅が止まり、入力したメモデータを表示します。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※データは空きページに1から15まで順番に記憶されます。
※続けてデータを入力したいときは、1 ～ 5 の操作を繰り返し行なってください。

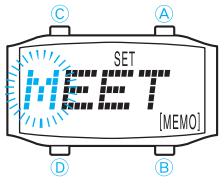
■データを修正する

1 Ⓐボタンを押して修正したいメモデータを選びます。

2 **Ⓓボタンを約1秒間押し続けます**

➡メモデータの1桁目が点滅します。

3 修正したい部分までⒷボタンを押して点滅を送り、ⒶまたはⒸボタンを押して文字を修正します。



4 修正が終わりましたら、**Ⓓボタンを押します**

■データを消去する

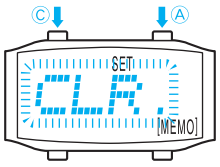
1 Ⓐボタンを押して消去したいメモデータを選びます。

2 **Ⓓボタンを約1秒間押し続けます**

➡メモデータの1桁目が点滅します。

3 **ⒶボタンとⒸボタンを同時に約1秒間押し続けます**

➡“CLR”と表示後、データが消去されます。
※消去後は新たなデータを入力できます。



4 消去が終わりましたら、**Ⓓボタンを押します**

※消去後新たなデータを入力しなかったときは、そのページは空きページとなり、データ番号の並べ替えが行なわれます。

ライト点灯について

どのモードのときでも、

Ⓒボタンを押します

➡時刻モード、ストップウオッチモード、メモモードのときは約 1.5 秒間文字板が発光します。

➡ワールドタイムモード、アラーム 1 モード、アラーム 2 モードのときは約 3 秒間文字板が発光します。

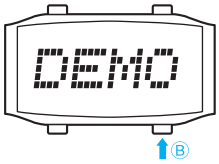


ご注意

- ●機種により発光部分が異なるため、メイン表示部以外が見えない場合があります。特に、午前／午後マーク、アラームマーク、DST マーク等の確認にはご注意ください。
- ●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

デモ表示について

本機は工場出荷時に本機の表示を自動的に見せる「デモ表示」に設定してあります。
（デモ表示中は、通常のボタン操作はできません）



●デモ表示の解除… Ⓑボタンを約 2 秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

●デモ表示の設定… 解除するときと同様にⒷボタンを約 2 秒間押し続けます。

時刻・カレンダーの合わせ方　以下の操作は時刻モードで行ないます。

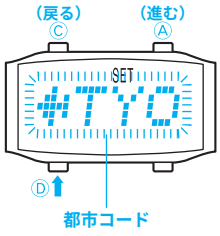
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット（ホームタイム都市の設定）

1 時刻モードのとき、

Ⓓボタンを約 1 秒間押し続けます

➡「都市コード」が点滅します。



2 **ホームタイム都市を選ぶ**

ⒶまたはⒸボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓒボタンを押すごとに戻ります。

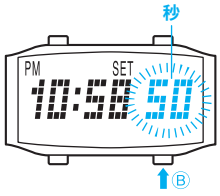
※Ⓐ・Ⓒボタンとも、押し続けると早送りします。

※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

3 **「秒」合わせ…± 30 秒以内の遅れ／進みの修正**

Ⓑボタンを押します

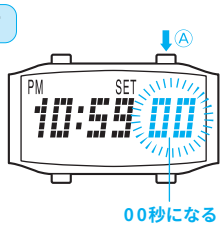
➡「秒」が点滅します。



時報に合わせてⒶボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。

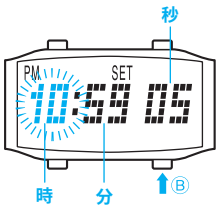
※秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）

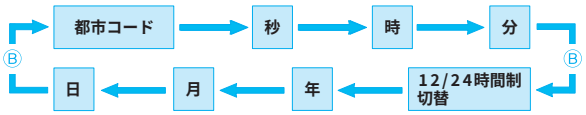


4 **「時刻・カレンダー」合わせ**

a. **Ⓑボタンを押します**

➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

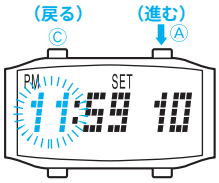




b. **ⒶまたはⒸボタンを押します**

➡Ⓐボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓒボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓐ・Ⓒボタンとも押し続けると早送りします。



a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

★「12/24 時間制切替」のときは、Ⓐボタンを押すごとに 12 時間制表示“ 12H ”と 24 時間制表示“ 24H ”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前（AM ／ A）と午後（PM ／ P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 1995 ～ 2039 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5 **セットが終わりましたら、Ⓓボタンを押します**

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。